

年収の4つの壁、税制改正でどうなる？

パート・アルバイトの働き控えは解消？！



2026年が始まりました！本年も、どうぞよろしくお願ひいたします。

ところで、会社勤めの方は、昨年12月のお給料が、少し増えているなど感じた方も多いと思いますが、それは、2025年の所得税の基礎控除や給与所得控除等の変更により、年末調整額が増えたことが要因と思われます。（下記表参照）

また、昨年12月に閣議決定した「令和8年度与党税制改正大綱」によると、基礎控除や給与所得控除が、2026年と2027年は、特例で以下のような控除が期待できそうですので、2026年の所得税の年収の壁は、160万円から178万円に上がり、今年の年末調整額も期待できそうですね。

基礎控除・給与所得控除（所得税・本人）

給与収入のみの場合 (～2024年		2025年		2026年・27年（改正後）		
	基礎控除	給与所得控除	基礎控除	給与所得控除	基礎控除	給与所得控除	
～約190万円以下	48万円	55～195万円	95万円	65万円	104万円	74万円	
～約200万円以下			88万円	65～195万円		74～195万円	
～約475万円以下			68万円			67万円	
～約665万円以下			63万円	195万円	62万円	195万円	
～850万円以下			58万円				
～2545万円以下			48万円～0円	48万円～0円			
2545万円超	48万円～0円		48万円～0円	195万円	48万円～0円	195万円	

では、今回の改正は、パート・アルバイトの人の働き控え解消となるのでしょうか？ 残念ながら、今回の改正では、住民税の基礎控除（43万円）に変更予定はないようですので、10%の住民税は、年収が約119万円（給与所得控除9万円アップによる）を超えるとかかってきます。また、年収の壁には、税金の壁と社会保険の壁の2つの壁があるのですが、社会保険の変更も今回はないようです。

1. 税金の壁

所得税の年収の壁の推移

103万円の壁 ～2024年 基礎控除 48万円 + 給与所得控除 55万円 = 103万円

160万円の壁 2025年 基礎控除 95万円 + 給与所得控除 65万円 = 160万円

178万円の壁 2026年 基礎控除 104万円 + 給与所得控除 74万円 = 178万円



住民税の年収の壁の推移（市によって多少差あり）

100万円の壁 2024年

110万円の壁 2025年

119万円の壁 2026年